

兵二曹青と震災

の阪神淡路大震災の翌年に発会いたしました。

甚大な被害をうけた神戸市内では、各地から駆けつけた大勢のボランティアによって救援活動がすすめられており、宗務所でもこの事態を重く受け止め、支援の方法が検討されました。当時、宗務所

私たち兵庫県第二宗務所青年会(以下兵二青年会)は、平成7(1995)年

管内では北部の但馬曹青、中部の円通会、南部の曹友会の三つの青年会がそれぞれで活動していましたが、互いに交流することはほとんどなく、この時初めて三団体が行動を共にすることとなりました。現地ではまず長田区にある宮川小学校で炊き出しを開始。建物の倒壊の恐れがあるということで、場所を丸山小学校に移し、引き続き活動を行いました。

これは、不便さを感じるようになりました。各団体との情報の共有や交流において兵二宗務所の青年会として、全曹青と共に活動することがよいのではと考え、話し合いを重ねた結果、平成8(1996)年、三つの青年会とは別に兵二青年会として会員を募り活動を開始いたしました。



兵庫県 第二宗務所青年会

御蔵地区のモニュメント

震災後、のちの兵二青年会としては犠牲者を悼み、全曹青と共に大練忌、卒

震災後、のちの兵二青年会としては大練忌、卒

兵二青年会も募金活動に協力。宮崎奕保不老閣下下に「鎮魂」の揮毫を頂戴し、七回忌法要に合わせ除幕式が挙行されました。毎年1月17日、この碑前において、住民の方々と共に慰霊法要を行っております。現在、町は当時の焼けた電柱や楠などを残す程度で、震災当時の面影も少なくなりました。また、被災された住民も移り住むなどで減り、次の世代へ伝えていくという事が大きな課題となっております。このモニュメン

発 足	平成 8 年
会 長	片瀬道昭
副会長	米原宗浩
事務局長	安達瑞樹
会 員 数	29名

トが訴えるもの。あの時、この地で多くの人々が亡くなったこと。そして、人々が共に助け合い、慰め合った事実を、私たちが青年会員は胸に刻み、これからも活動して参ります。



毎年の神戸市長田区御蔵地区での慰霊法要



震災時の炊き出しボランティア

